



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和5年3月1日 第11号

小笠原村立小笠原中学校

校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 当たり前の日々の幸せ

校長 椎橋 秀行

3月に入りました。次の学年0学期も残すところ1か月を切ったこととなります。3年生は、都立高等学校の合格発表が本日。そして、17日が卒業式です。私は、この時期になると、2つのことを思い出します。

1つは、3年前。都立高等学校の合格発表日から、新型コロナの感染防止のために急遽全国一斉休校が始まりました。3年生の進路対応やその後の卒業式、学年末処理の対応などであわてました。私のいた学校でも、卒業式だけは行いましたが、参列は卒業生とその家族1名、在校生も代表生徒1名で、寂しいものになってしまいました。学校によっては、時間差をもうけて何回かに分けて行った学校もありました。

もう1つは、2011年の東日本大震災。その日、3年生の卒業遠足の引率で東京ディズニーシーにいました。交通機関が止まり帰れなかった学校もありましたが、観光バスを使っていたことやディズニーシーが幸いし駐車場の液化化現象も避けられ、大渋滞には巻き込まれましたが、約4時間遅れで無事学校に帰ることができました。卒業式は予定通り行われましたが、自粛ムードの中、卒業を祝う会などが中止になりました。

今年の3学期の始業式で、「平和な1年に」という話をしました。昨年の大みそかの日に見たNHKの番組からの思い出でした。その番組は世界の街巡りの再放送で、3年前のウクライナのキーウが取り上げられていました。広場にひまわりの花の販売などの屋台が並び、人々はのんびりと休日を楽しみ、取材クルーにもとても親切で親しげに対応していました。それらの人々の中で、その後のウクライナの現状を想像できた人は誰一人いなかったことでしょう。

年度末で何かとあわただしさはありますが、当たり前の毎日が送れることに幸せを感じます。今月は、全校での球技大会や、本校の特色ある教育活動の全校吹奏楽や合唱の音楽発表会、3年生を送る会などがあります。3年生は、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、成長した自分に自信と誇りをもって、卒業式を迎えてほしいです。1・2年生は、この1年間の様々な活動から確かな成長が感じられます。次の小笠原中学校をつくっていく自覚や、3年生への感謝と祝福の気持ちとともに、4月からいいスタートが切れるよう準備してほしいと思います。

## 書き初め展

国語科担当 野内 由紀子

冬休みの課題として取り組んだ書き初めの作品を、先日の学校公開で展示しました。審査には、小笠原高校の国語科の先生方にもご協力いただき、ありがとうございました。各学年の入賞作品を紹介します。

第1学年「金賞」富田 みのり、松原 友香  
「銀賞」菊池 純  
「銅賞」白倉 築、吉田 智貴

第2学年「金賞」川口 喜久  
「銀賞」小野寺 麻芭  
「銅賞」高野 青波、梅津 小夏、高嶺 佳加、筒井 彩花、森下 加椰

第3学年「金賞」矢嶋 湊、池田 杏、綿引 夢恵  
「銀賞」鯉江 和人、後藤 美咲  
「銅賞」大井 昂輝、仲島 緑生、池田 すみれ、川口 八重、吉田 梨乃

(敬称略)



# 小笠原村第50回ロードレース大会



保健体育科担当 柴山 暁人

1月29日(日)に小笠原村第50回ロードレース大会が開催されました。中学生女子は4km、男子は6kmを懸命に走る姿がとても印象的でした。大会に向けて、保健体育の授業においても持久走単元を実施し、毎授業で約1,500mを走り切るとともに、仲間の走りを応援し良い雰囲気大会を迎えることができました。

また、「走り」に関して自分が興味のある分野を調べ、それを授業で実践する生徒も多く見られました。これらの準備を経て力と自信を付けて大会に臨み、自己ベストを尽くすよう努力する姿勢が尊いと感じます。そこから見えてくるものがあります。1つ目に、準備が大切であること。2つ目に、大会に参加すること。3つ目にベストを尽くすよう努力すること。4つ目に自分の成長を誇るとともに、応援してくれた方々に感謝をすること。これらがとても大切だと感じます。

最後に生徒の感想文を紹介します。『最初は持久走の授業がほんっとに嫌で体育の日を毎回休みたいくらいだったけれど、段々記録が速くなって行って好きにはならなかったけれど、嬉しくてモチベーションも上がった。駅伝大会はチームのみんなで作ったから疲れたけれど、持久走の授業が唯一楽しいと思えた。みんながすごく応援してくれて嬉しくてがんばれた。(中略) 今回の持久走の単元やロードレース大会を通して、友達や仲間、応援してくれる人の大切さを改めて実感することができたので、今後スポーツするときはそういうのを意識して感謝してやっていきたい。』 みなさん、よく走りました！これを自信にしていきたいと思います。

## 【中学生 男子の部】 (敬称略)

1位	市野 礼雄 (2年)	23分 42秒 25
2位	高野 青波 (2年)	25分 04秒 42
3位	横山 蓮 (1年)	26分 16秒 36
4位	吉田 智貴 (1年)	26分 45秒 89
5位	持田 翼 (3年)	27分 14秒 99
6位	成田 帆高 (2年)	27分 30秒 98
7位	片岡 和貴 (1年)	27分 57秒 75
8位	出原 空 (3年)	28分 49秒 81
9位	白倉 築 (1年)	29分 31秒 35
10位	矢嶋 湊 (3年)	29分 57秒 65

## 【中学生 女子の部】 (敬称略)

1位	後藤 美咲 (3年)	20分 25秒 61
2位	池田 杏 (3年)	20分 28秒 53
3位	吉田 梨乃 (3年)	20分 32秒 88
4位	小森谷 波花 (2年)	20分 34秒 34
5位	松原 友香 (1年)	20分 36秒 97
6位	森本 千諒 (1年)	21分 15秒 26
7位	小野寺 麻芭 (2年)	21分 22秒 07
8位	菊池 純 (1年)	21分 23秒 23
9位	森下 加椰 (2年)	21分 40秒 48
10位	大田 仁奈 (3年)	21分 53秒 78

# 作品展示



文化行事委員会 高部 みなみ

2月6日(月)～11日(土)にかけて、今年度の授業で制作した生徒作品の展示を行いました。図書室と廊下を中心に、生徒の作品がたくさん並びました。展示準備の段階から、生徒同士で作品を見て感想を言い合っているところや、

作品を作っているときの気持ちを思い出しながら話す様子が印象的でした。また、昼休みや鑑賞の時間では、他学年の作品を見ながら、先輩・後輩から、良いインスピレーションをもらっていました。今年度も昨年度に引き続き、コンクール形式で投票を行い、各部門の最優秀作品を表彰しました。授業での自分の頑張りを、みんなに認めてもらうことはうれしいことだと思います。展示会をきっかけに、「次も頑張ろう」「次は頑張ろう」と、自分を高めていってほしいと思います。中学生の作品は、自分たちのありのままの気持ちが出る場所がいいと思います。複雑に絡む様々な感情が作品の細部に出ていてとても面白いです。次年度の作品展までに、また自分の技術を上達させ、素敵な作品を作りたいと思います。



作品展示の様子は、学校フェイスブックでも紹介しておりますので、ぜひご覧ください。 学校フェイスブック

## 第1学年「1年間を振り返って」

第1学年主任 小林 政輝



早いもので入学してから1年が経とうとしています。この1年間で体はもちろん、心も大きく成長したことでしょう。小学校との違いに戸惑った人も多くいたと思いますが、定期考査に向けて自分なりの学習方法を確立したり、勉強と部活動と習い事を両立できるように時間を調整したり、行事では全員で協力し合い、自分たちで考えて実践する姿が見られ、成長を感じる1年間となりました。一方、課題が残っていることも事実です。時間への意識や「これくらいいいだろう」と自分勝手に判断

してしまうところは改善できるように今後も取り組んでいきましょう。2年生でも様々な経験を通して、自分の色を作り、21人21色のRainbowを輝かせてください。1年間ありがとうございました。

## 第2学年「1年間を振り返って」

第2学年主任 高田 奈々



今年度も『チーム2年生』として成長を見守っていただき、ありがとうございました。第2学年では、小笠原の歴史学習や職場体験等を通して、島の方々から多くのことを学ばせていただきました。この1年間の学びの感想を聞いてみると、「小笠原の歴史を伝えていきたい。」「将来、硫黄島の遺骨収容に貢献したい。」「地域の方々と学校外でも親交を深めていきたい。」といった思いをもっていることがわかりました。ここでの学びが5年後、10年後やその先まで繋がってほしいと思います。

また2年生は、自分たちで考えた今年度の学年目標の「責任をもって積極的に考動する」を一人一人が意識して『考動』できたと思います。自分の「できた」を「自信」という糧にして3年生に進んでいきましょう。

## 第3学年「1年間を振り返って」

第3学年主任 湯本 美樹



コロナの影響で多くのことができなかつたり、変更になったりした3年間も、終わりを告げようとしています。過去一番の人数の学年として入学し、設備的にも様々な不便はありましたが、その中でも生徒たちは毎日明るく元気に過ごしてくれました。心も身体も大きく成長しましたが、素直でかわいい所は、入学した時のままです。これからも多くの人に愛されて、幸多き人生を歩んでくれると信じています。今まで、保護者の方々、地域の方々をはじめ、多くの方々に支えていただき、何とかこの3年間を終えることができそうです。感謝しております。かわいい生徒たちと小笠原中学校で過ごしたこの3年間は、私の人生の宝物です。ありがとうございました。

この3年間を終えることができそうです。感謝しております。かわいい生徒たちと小笠原中学校で過ごしたこの3年間は、私の人生の宝物です。ありがとうございました。

## 野球教室

野球部顧問 矢代 祥大



1月15日(日)に、ヤクルト、ロッテ、中日で活躍されたギャオス内藤選手に来ていただき、野球教室が開かれました。野球部員に加え部員以外の参加もあり、内藤選手の明るいキャラクターのもと、楽しく野球をすることをテーマに走塁、守備、打撃を教えてくださいました。笑顔の絶えない時間でした。

## Tokyo Global Gateway VR授業

英語科担当 高田 奈々



2月1日(水)及び9日(木)の3時間の英語の授業で、体験型英語学習施設のTokyo Global GatewayからVRでの出前授業をしていただきました。各自でアバターを設定し、VR空間を移動しながらスタッフの方と英語でコミュニケーションをとります。自己紹介に始まり、都内の名所の案内等を例示された英文を使用しながら、グループの生徒同士が協力して一生懸命説明していました。来年度の修学旅行での訪問に向けて、ウォーミングアップの機会となりました。

## 新入生説明会・体験授業

国語科担当 野内 由紀子



2月2日(木)に新入生説明会の体験授業として国語の授業を行いました。中学2年生で学習する「枕草子」の冒頭部分の学習を行いました。現代では使われていない語が多く使われていること、筆者(清少納言)が季節の良さを時間帯で表していることを確認し、その後「マイ枕草子」を書こうという活動を行いました。学校の行事や食べ物、植物でその季節らしさを表し、交流しました。音読や自分の考えを書く活動に一生懸命取り組むことができました。

## 道徳授業地区公開講座

道徳教育推進教師 野内 由紀子



2月11日(土)に道徳授業地区公開講座を行いました。今年度は全学年「自主自立、自由と責任」をテーマとし、1学年は『裏庭でのできごと』、2学年は『小さなこと』、3学年は『町内会デビュー』を取り上げました。当日はたくさんの保護者・地域・小笠原小学校・小笠原高校の皆様に参加していただき、道徳授業の後に行った意見交換会でも、活発な意見が交わされました。意見交換会では、ICT端末を使った学び方や授業の進め方についても、参加の皆様からご感想をいただきました。

## 3月行事予定

1日(水) 安全指導 都立一次・分割前期発表 芝生の日 役員会・学級委員会	15日(水) 芝生の日
2日(木) 食育講話 避難訓練 SC勤務 自転車安全点検 部長会・中央委員会	16日(木) 卒業式準備 SC勤務
3日(金) お弁当の日 3年ゲートボール交流会	17日(金) 卒業式
6日(月) 生徒会朝礼 3年海洋調査講義	20日(月) 学校朝礼 保護者会(午後3時～)
7日(火) 3年海洋調査	21日(火) 春分の日
8日(水) 職員会議	23日(木) 大掃除 郷土講座
9日(木) 球技大会	24日(金) 全体学活 修了式 離任式
10日(金) 3年卒業遠足	25日(土) 春季休業日始 見送り式
11日(土) 授業日 音楽発表会 3年生を送る会	28日(火) 出迎え式
14日(火) 卒業式予行	4月6日(木) 始業式 7日(金) 入学式

今後のマスクの着用について、小笠原小・中学校としては以下のように対応します。

- ・3月中 : マスクの着用をお願いします。(卒業式では、卒業生は外すことを推奨します。)
- ・4月以降 : マスクの着用は個人の判断とします。(入学式も同様です。)

ご理解・ご協力をよろしくお願いします。